

(別紙 2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 2 月 28 日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4270500830		
法人名	有限会社 上野企画		
事業所名	グループホーム ねむの木		
所在地	大村市黒丸町 1471 番地 1		
自己評価作成日	平成 25 年 1 月 28 日	評価結果市町受理日	平成 25 年 3 月 11 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目 7217 島原商工会議所 1 階		
訪問調査日	平成 25 年 2 月 14 日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

日当たりのよい広い庭があり、かわいい犬がおり、四季折々の花々や果実を楽しむゆったりとした暮らしの中で「今、この瞬間を大切にしたい介護」という理念のもと、利用者のその日、その時の思いを大切に、家族的な雰囲気ですべての支援に取り組んでいる。職員の研修等職員育成に積極的に取り組み、ケアの向上に努める一方、実践した介護については、介護福祉士会等で発表しケアの向上に努めている。また、利用者を中心とした家族との会食をホーム内で年に 5 回実施し親睦を深める、毎月「ねむの木便り」を発行し利用者の状況を報告している。地域との交流、近隣の保育所園児の訪問、フラダンス等のボランティアを受け入れたり、ホームの行事や運営推進会議、避難訓練などにも家族や地域の人々の多くの参加があり、日頃から理解と協力が得られている。また、介護実習生を多数受け入れ、人的・物的環境を提供している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

代表及び施設長は医療現場の管理者として長く従事され経験豊富である。当該事業所の開設にあたり『利用者の立場に立って物を考えられる、利用者の声を聞く、介護者の心を伝える』との信念で職員教育をされ、ホーム独自の外部講習開催、定期的研修、働きやすい環境作りに傾注されている。利用者、職員、管理者の関係も良好で笑顔の絶えない事業所であり、手作りのペランダ、簡易加湿器等職員間で話合いながら、お金を掛けない工夫も窺える。

また、代表は地域の役員経験もあり地域に根ざした協力関係も出来ており、医療関係機関との連携が図られ、施設長は看護師資格者でもあり利用者、家族にとって信頼できる事業所である。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念の中に地域との交流を含み、成文化している。また、毎朝のミーティングの後に管理者、職員で理念を唱和し、毎日の介護の中に理念を具現化していくように努めている。	基本理念に基づく職場理念を開設時に職員全員で作られた。毎朝の申し送り時、支援の場面場面で、その都度話し合い共有化され支援活動に活かされている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ホームの行事に参加して頂いたり、町内会の行事にも積極的に参加し、交流の機会を作っている。又、ホームの前に大村市コミュニティセンターが出来、交流する機会が増えている。近所の方から自家製野菜などの差し入れもある。	町内会には地域の役員経験もある代表が加入されており、事業所は各種行事に積極的に参加されている。事業所の夏祭りでは近隣にチラシを配布し、多数の住民が参加されている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域住民の集まりの場で認知症についての話しをしたり、近隣の方の相談に乗っている。又、地域のヘルパー養成所の実習も受け入れて、技術の習得の支援をしている。	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し、利用者の状況、サービスの状況等を報告している。市職員、地域の方、家族の方の意見をいただき、サービスの向上に努めている	市役所職員、民生委員、町内会長、老人会長、元消防団員、家族が参加され相互の交流と情報交換が行われている。メンバー以外の家族へは事業所便りにより報告している。	
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護相談員の訪問を定期的に受け入れている。また、市職員は運営推進会議のメンバーの一員として、協力を得ている。市が計画する講習会等にも積極的に参加している。	市の要請により介護相談員の訪問を定期的に受入れており随時アドバイスも戴いている。市の窓口担当者との関係作りも良好である。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>利用者の尊厳を大切に、見守り等を密にし、身体拘束をしないように努めているが、やむをえない時は家族に承諾を得て、ベッド柵を使用することがある。</p>	<p>県主催の講演会で身体拘束に関連した内容を職員全員で原稿を作成し発表される等職員の意識は高い。日常のケアを通じ、声掛け等の気遣いにも配慮されている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>毎朝のミーティング、勉強会で現状を話し合い、虐待についての理解に努めている。日常の業務でも利用者、職員がストレスを抱え込まないように、職員間で協力を努めている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>ミーティングや職員会議等で参考書を元に制度を学ぶ機会を作っている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所希望で見学に来られた際に家族や利用者の状況を聞き、サービス内容等を重要事項説明書により説明している。解約についても、施設内の現況を説明し、今後の方針等を家族、協力医で検討している。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会議を年に2回開催し、家族からの意見や不満などを聞き、面会時も声かけをして聞く機会を作っている。また、年間5回ほど、ホームで会食を実施して、家族単位でゆっくり食事しながら交流できる場を設け反映させている。</p>	<p>家族会の中に福祉系大学の職員がおられ見学希望の意向を受け来所戴き勉強会にも出席され情報交換が出来た。便り等で職員の介護感を発表し相互理解を深める等家族とのコミュニケーションを大切にしている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎朝のミーティング、毎月の職員会議等で意見、提案を聴く機会を設けている。また、個人的に話す機会を作ったり、アンケートをとったりして、運営に反映させている。</p>	<p>職員アンケートを年に1回実施し、意見等把握に努めている。職員より兩対策としてテラスに屋根設置の希望があり、代表が手作りで作成された。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与、役割、希望等に反映させている。また、旅行等リフレッシュできる環境を整えている。職員の誕生日のプレゼントや、感謝会等を設け日頃の苦勞に対し慰勞の気持ちを伝えている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>昨年は、毎月講師を招きホーム内で研修を実施した。経験年数に応じた研修も実施している。また、介護福祉士会での、介護実践事例発表など行い介護の研鑽に努めている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>地元グループホーム協議会や介護支援専門員協議会での職員研修会に参加し、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等実施し、サービスの質の向上に努めている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>家族の方から情報提供をもらい、本人の安心を確保する為に、傍に寄り添い言葉を掛け、常にコミュニケーションをとり、状況把握に努め信頼関係を築くようにしている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族のこれまでの思いをしっかり受け止める。そして、お互いの情報提供と共に家族の方の協力を得て、利用者を共に支えあえる関係が築けるよう心がけている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>家族から、食事、排泄等の日常生活における具体的な支援や利用者の思いについての情報を参考にして支援をする。状況によっては、受診の支援をしている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員と利用者は家族という思いで家庭的な環境作りに努め、共同生活を楽しくして頂けるよう、支え合う関係を築くようにしている。また、テレビを見ながら一緒に楽しんだりしている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会の際は、詳細な状況報告を行い、家族との意見交換の時間をもち、喜怒哀楽を共有できる関係作りに努めている。また、介護において行き詰った時など、家族に相談して一緒に考えていただいている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族の方からの情報を生かし、本人からも要望があれば、馴染みの方に電話、手紙等で交流を深めていただくように支援に努めている。</p>	<p>利用料を持参払いの方法とし、家族の方から情報を得たり、意思表示が難しい利用者には来所時に家族とのコミュニケーションを通じ、情報把握に努めている。馴染みの美容院などへの外出支援も行われている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者の「出来ること」「できないこと」を見極め、1人では出来ないが、2人なら出来ることもあり、利用者同士が関わりあえる様に場面作りに努めたり、話題を提供して橋渡しなどしている。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院等の事情により退去された方のお見舞いは必ず行き、利用者を励ましたり、必要に応じ、家族や本人の相談に対応している。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>仏壇持参の方へのお仏飯、茶等の支援をしている。時には食事や、日常生活にも要望を取り入れ、誕生日には本人が大好きな物を用意している。たまに部屋で食事をしたいという方には、部屋に運んでいる。</p>	<p>生活暦及び日日の支援活動を通じ利用者の希望を把握し職員体制も考慮した中で出来る限りの支援が行われている。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>外出が好きな方は庭の散歩や買い物と一緒にいたりしている。また、利用者様の馴染みの店や場所等へ出かけるようにしている。好みの歌手の歌謡ショーに同行したりしている。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>利用者の状態、過去の状況等を勘案して、読書などゆっくりと過ごして頂いたり、洗濯物の整理、施設内外の掃除、または食事の下準備、食器の下膳を手伝ってもらっている。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>利用者の担当職員と計画作成者と話し合い入居者に合った介護計画を作成している。朝のミーティングや職員会議などで評価し、家族と担当者会議を開き、面会時にも話し合いを持ち、介護計画に生かしている。</p>	<p>利用者の担当職員、その他職員、管理者で話し合いケアプランを作成している。本人、家族の希望はケアプランを提示し同意を戴いている。利用者個々の計画は、ケース記録に明示し支援活動に活かしている。</p>	
27	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>業務日誌、個人ケース記録に記入し、毎朝のミーティング時に伝達することで情報の共有化を図っている。また、伝達があれば、その都度伝達ノートに記入している。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者の状況や家族の状況に対応し、面会時間や持ち込み等の制限はしていない。また状況によっては、自宅に外出する際は施設の車椅子専用車で送迎することもある。</p>		
29	<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>昔からの友人や近所の方がよく面会にこられている。ダンスのボランティアや幼稚園児が遊戯にきてくれ、楽しく交流ができています。また、訪問美容室の利用や、行きつけの美容室への支援もしている。</p>		
30	11 <p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>週1回は協力医の往診、2週間に1回は、歯科医、歯科衛生士、皮膚科医師が来られ、往診、口腔ケアをしてもらっている。他科についても、本人や家族の希望、また、施設側の判断により、専門医へ受診している。</p>	<p>全員協力医受診である。専門医受診は基本的に職員対応である。受診後家族への報告を行っているが、状況によっては家族の同行もお願いしている。車椅子対応車を2台保有し緊急時に備えており、医師会との交流会もあり連携体制も出来ている。</p>	

31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>施設長が看護師であり、日々の気づきや情報は随時報告、相談し、指示を受けている。また、協力医の看護師にも報告、相談し、いつでも協力が得られる環境にある。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>面会やお見舞いに行き、ストレスの緩和に努めている。医療機関・家族との連携を密にし、納得のいく計画を立てている。長期の場合は退院後の対策を医師、家族を含めて検討し、リハビリが必要な場合は受診介助をしている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居の時、重度化した時など、本人・家族にも希望を尋ね、終末期には双方納得のいくように話し合いをもっている。状況に応じて協力医と連携をとり、酸素吸入、点滴注射、吸引等に対応できる体制を整えている。</p>	<p>現在1名の利用者を支援中である。指針の説明後随時、主治医、家族との継続した話し合いを行っている。施設長が看護師であり職員に対する終末期対応についての勉強会も行っている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>個々の利用者に起こり得る急な容態変化や事故を想定し、申し送り時や会議時に周知に努めている。また、対応方法や応急手当については施設長より指導を受け訓練している。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の消防署の指導のもと、訓練を実施し、定期的に避難訓練を行っている。また、経営者が地域住民の一員なので地域の方々の協力が得られている。また、県の消防大会に参加し、意識を高めている。</p>	<p>消防署立会いも含め年2回の訓練を実施している。消防学校への大会にも職員が参加された実績があり意識は高い。訓練には町内会長、地域の住民も参加がある。緊急通報装置で連絡体制も整備されている。備蓄は倉庫に完備されている。</p>	<p>緊急時持ち出しファイルは準備されているが、既往症等の詳細な情報の記載は必要と思われる。検討に期待したい。</p>

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報の保護については、採用時や折りにふれ説明し確認している。日常生活では常に個人の性格、生活歴を把握した上で、言葉遣いに注意しながら、誇り、プライバシーを傷つけないように、対応している。	利用者には尊厳を損ねない声掛けが行われている。おむつ交換時、入浴時等もプライバシーに配慮した支援が行われている。個人情報は、事務所内の所定位置に保管されている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃から関わりを密にし、ふとした表情や言葉から思いを把握するように努め、希望を聞き、自己決定できるように働きかけている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	「ちょっと待って」は禁句とし、引き継ぎ中であっても、利用者の対応を優先している。その日の体調、どのような過ごしたいかを把握し、対応している。外食、イベント等全員参加をして頂けるよう、声かけをしているが、無理強いはしていない。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理容、美容については、出張をお願いしているが、利用者、家族が希望される場合は、職員や家族が行きつけの所に同行している。毎日の洋服選びも要望を聞くようにしている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の希望を聞き、出来る範囲で希望に対応している。一緒に調理、準備し、食後は皿洗い等をしている。出来るだけ温かいまま、提供するようにしている。時には、好みを尊重しバイキング方式も取り入れている。	その日の材料により職員が献立を考えている。利用者にリストを貰って作ることもある。行事計画での外食、ホームのペラダで家族とゆっくり弁当を食べる事もある。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の状況により、食事の量、食事形態を考慮している。水分は、水、お茶だけでなく、ジュースやココア、コーヒー他、また、ポカリ、紅茶等をゼリーにし、水分補給をしてもらっている。		

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>2週間に1度、歯科医往診あり、口腔ケア、義歯の調整をしてもらい、舌ブラシ、歯間ブラシ等を使用しながらケアしている。リビングに洗面所があるため、毎食後、確実にケアが出来ている。お茶でうがいをしている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表を利用し、個人の排泄パターンを把握し、失禁等を減らすように努力している。また、日中は立位不可でも、トイレでの排泄支援をしている。昼間はボクサーパンツに尿とりパット使用等の工夫をしている。</p>	<p>プライバシーを尊重した声掛け誘導が行われており、夜間は1時間毎の見回りにより対応されている。ホームの方針で出来る限り、立位での排泄を目指し2名での介助が行われている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎日、排泄チェック表で確認し、薬の調整や食物繊維の多い食事、おやつ、手作りヨーグルト等によって、便秘に気をつけている。また腹筋低下防止に、レクリエーションで歌ったり、軽い体操等をしている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴日を設定し、希望される時間に1対1で介助し、30分位ゆっくり窓の外の眺めを楽しんでもらっている。その日の体調等で入浴が出来ない時は、部分浴などを行っている。時々、浴槽にバラの花や果物を入れている。</p>	<p>入浴時間を午前の部、午後の部と分け、利用者と職員は会話を楽しみながらゆったりとした時間を共有されている。薔薇、柚子、みかん等を入れ楽しみにも工夫されている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>声かけして、本人の好む場所で休んでいただいている。(居室、和室、ロビー)夜間寂しいという方の場合、傍でしばらく話しをしたり、マッサージをして、入眠を支援している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>利用者の薬の一覧表を作成し、確認している。薬箱を個人別に朝、昼、夕と分け、職員が管理している。飲めない錠剤等は粉末にして、あんこに混ぜている。薬の効果や副作用について観察し、医師に報告している。禁忌食品との関係など留意している。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>その人、その人に出来ることを自発的にして頂いている。洗濯物たたみ、食器洗い、調理準備、廊下掃除、庭の草むしり、テレビのスポーツ観戦、読書、レクリエーション参加、外庭散歩等、時には、買い物等の支援している。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>身体状況等を判断して、買物、外出の支援を行う。施設内の庭を散歩をして花を摘んだり、野菜、果物の収穫を支援している。年間行事として、花見、外食、ドライブなど実施している。お誕生日には、希望を叶えられるよう個別支援している。</p>	<p>近隣のスーパーへの買物、行きつけの美容室、本屋、銭湯等希望を把握し、外出の機会を設けている。季節により花見、ドライブ等利用者の身体状況を優先の上外出の機会を設けている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族、本人の希望があれば、本人の管理できる範囲内で所持してもらうようにしている。時には、買い物支援をしている。支払いができる方は、後ろで見守り、支払いをしてもらっている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話の希望があれば、家族の状況等を考慮して掛けている。手紙は、本人にみてもらい、返事が書けないときは、本人に聞きながら代筆する場合もある。電話があればベッド臥床中でも耳元にあて取り次いでいる。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングは、広さや明るさ、外の眺め等快適な環境である。また、生け花、旬の食べ物、庭の草花、果物等で常に季節を感じてもらっている。居心地のよい共用空間づくりにする為に常に検討している。</p>	<p>雛飾り、鯉幟等季節ごとの飾りがあり、音、光、匂いや木の温もり等五感を刺激した環境作りを工夫されている。リビング兼食堂はゆったりとしたスペースで畳の場所もあり、居心地の良い空間である。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間の中に和室も整えているので、ゆっくり休んで頂くようにしている。また、リビングにソファを用意しているので、相性の良い方、そうでない方についてもさりげなく支援し、息抜きの場所を作っている。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が今まで使い慣れたタンス、ベッド等の持ち込み、また、仏壇の持ち込みも自由にし、家に居た頃のように安心して過ごせる環境を心がけている。	ゆったりとした居室は職員により清掃、室温、湿度の管理が行届いている。周囲には思い出の品や写真が貼ってあり、在宅時同様自由に過ごせる様な配慮が窺え、居心地の良い居室である。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりのわかる力を把握し、活かす事で、自立した支援を心がけている。各部屋の表示、自室の表示をし、特に、トイレの表示は張り紙、飾り、蛍光表示、豆電燈など工夫している。		
アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない	
57		利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない	
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない	

64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)</p>		<p>1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない</p>
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)</p>		<p>1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない</p>
66	<p>職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)</p>		<p>1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。</p>		<p>1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。</p>		<p>1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>